

平成29年度 磐田市立豊田北部小学校 ”後期”学校評価書

☆磐田市共通評価項目

重点	目標・取組	評価指標(市:目標値)	自己評価	学校関係者	H29後期評価	H29後期	H29前期評価	H29前期	H28後期	H28前期	考察・改善策	学校関係者評価委員から				
					「4+3」の%	4の%	「4+3」の%	4の%	「4+3」	「4+3」						
学年 学校 級 経営	「夢をもち きらきら輝く子」を育む学校を目指す。	◎1(学校教育目標) 学習や行事に一生懸命に取り組んでいる。 (夢をもちきらきら輝く子)(児童)		教師	100	34.8	100	45.5	95.7	100	評価項目1 学校教育目標については、校長が全校の集いで話したり、教員も児童たちに言葉かけをしている。音読発表会や持久走大会などの行事にも粘り強く取り組む児童が増えた。以上のことから90パーセントを超えることができる。今後も学校教育目標を意識して取り組んでいきたい。 評価項目2 保護者の評価は今回も目標の89%には届かなかった。しかし、H28と比較して数値が向上しており、「4の評価」も向上している。今後も学年だよりやホームページで児童の姿や教育内容を繰り返し伝えていく。 評価項目3 児童の評価が4%下がったことが残念である。保護者の評価も目標の92%を割ってしまった。児童や保護者の話をよく聞くゆとりをもてるように業務改善を図るとともに、保護者や地域の方にも協力を呼び掛け、皆で児童たちを育てていけるような体制を作っていきたい。 評価項目4 こちらも児童の評価が4%以上下がってしまった。項目3の改善策とともに、学校の要である授業の改善やよりよい人間関係作りにも力を入れていく。 評価項目5 ほぼ目標値に近い値であるが、やや下がってしまった。本校ではユニバーサルデザインを意識した授業に取り組んでいる。これは児童たちの実態を把握し、一人一人に分かりやすい授業をすることを目標としている。この研修も3年目であるため、教員全体でもう一度意識し、児童が分かった・できたと感じる授業にしていく。 評価項目6 児童の目標値(77%)と比べると評価が高い。保護者では「4の評価」も伸びている。今年度は「対話のある授業」も目指している。児童が調べ、考え、話し合っって答えを導き出す学びである。今後も工夫した授業実践をしていく。 評価項目7 目標値(88%)を超えることができなかった。5、6年での評価が低い。来年度は5、6年生で外国語活動を年間15時間増やし50時間実施する。グローバル化に向けて外国語活動に力を入れていきたい。 評価項目8 目標値を超えることが出来ている。また「4の評価」も70%を超えている。今年度は友達同士で助け合うことを目的としたピア・サポートの学習を3年生以上で実施した。児童たちが困ったときに協力し合えるような人間関係作りにも努めていきたい。 評価項目9 児童の目標値(85%)は達成できたが、前期に比べてさらに下がってしまった。ルールを守ることに課題がある。生徒指導主任を中心に名札や帽子、時間等について指導していくとともに、道徳などでルールの大切さを感じられるような指導をしていく。 評価項目10 教師も保護者も評価が向上している。「4の評価」も向上しているのもうれしい。ユニバーサルデザインの考え方は授業だけではなく、常に人に優しく接することができるよう、来年度から実施される「特別の教科 道徳」を要として全教育活動で取り組んでいきたい。 評価項目11 H29前期に比べて、教師の評価が5%以上向上した。教師が体育の授業でも児童の実態を把握して授業に取り組んできた成果が出てきたと考える。今後は児童の評価90%を目指して、児童も成果を実感できるような授業づくりをしていく。 評価項目12 児童の評価が3%下がったことが残念である。しかし、教師の評価が100%であり、保護者の評価も上がったように、本校は欠席率が減少し、磐田市内でも少ない学校になった。歯みがきについては、もう一度家庭と連携しながら、児童の意識を高めていきたい。 評価項目13 児童の評価が目標(78%)と比べて高い。地域の歴史や自然についての学習を支えていただいているPTAや地域の方の御協力が大きい。今後は、さらに学習が地域の関心へと向くように、繰り返し地域とともに学ぶ活動を行っていきたい。	評価項目1 授業や行事を見ていると子供が楽しみながら一生懸命に取り組んでいる様子が分かる。 評価項目2 ホームページを楽しみにしている。今後も続けていってほしい。 評価項目3 項目4とつながっていると思う。先生が子供の話をよく聞くことで、子供は学校が楽しいと感じるであろう。 評価項目4 学校生活が楽しいという雰囲気を作ることが大切である。先生方には楽しい学級や学校の雰囲気を作っていってほしい。 評価項目6 授業の様子を参観すると、先生方が板書や授業を工夫している様子が分かる。今後も続けていってほしい。 評価項目7 企業ではグローバル化に向けて、以前から取り組んでいる。それらも参考にし、理解度も伴った楽しい授業にしていってほしい。 評価項目8 子供が相談できることも大切だが、保護者が子供のことを学校に相談できることも大切である。学校として、保護者が相談できる工夫をしていくとよい。 評価項目9、10 あいさつができる子供が多くなってきている。お礼を言うことが素直にできる子供もいて気持ちが良い。声が小さい子供には大人からあいさつをしていくことも大切である。 評価項目12 歯みがきは習慣づけが大切なため、家庭との協力が必要である。歯みがきの必要性を子供に分からせるような指導をしていくことも必要である。 情報モラルに関する安全性も心配である。保護者の子供への携帯電話等の情報機器の与え方も含めて、子供が安全に生活できる取り組みについて保護者と考える機会ももちたい。 評価項目13 交流センターに来ている子供の様子を見ると、子供たちは地域のことに関心をもっているように感じた。地域の活動に参加してみたいかどうかを聞いてみるのもよいのではないかと考える。学校では、「化石教室」や「ようこそ先輩」など地域の歴史や自然と関わる機会を多く設定しているので、今後も郷土の歴史や自然を学ぶ機会をさらに充実させていくことが必要である。 交流センターの歴史教室も盛り上げていって協力したい。				
			○	教師	100	47.8	100	27.3	100	95.2						
				児童												
			保護者	86.4	26.4	86.9	21.6	82.9	83.4							
		○	教師	100	65.2	100	50.5	100	95.2							
		▲	児童	90.5	63.8	94.5	69.8	96.1	95.5							
			保護者	91.4	45.7	92.7	39.3	91.1	89.0							
		○	教師	100	65.2	100	45.5	100	100							
		▲	児童	86.3	60.0	91.0	61.2	87.6	90.3							
			保護者	95.8	53.2	96.7	55.8	95.9	94.4							
		学ぶ 喜び ・ 分かる 授業 づくり の 楽し さが	・しっかりと聴いて考え、高め合おう ・学習の習慣を身に付けよう	☆5 子供たちは学習内容をおおむね理解している。(教師85%、保護者) 授業の内容がよく分かる(児童:91%)		教師	90.9	4.5	90.5	0			87.0	76.2	評価項目5 ほぼ目標値に近い値であるが、やや下がってしまった。本校ではユニバーサルデザインを意識した授業に取り組んでいる。これは児童たちの実態を把握し、一人一人に分かりやすい授業をすることを目標としている。この研修も3年目であるため、教員全体でもう一度意識し、児童が分かった・できたと感じる授業にしていく。 評価項目6 児童の目標値(77%)と比べると評価が高い。保護者では「4の評価」も伸びている。今年度は「対話のある授業」も目指している。児童が調べ、考え、話し合っって答えを導き出す学びである。今後も工夫した授業実践をしていく。 評価項目7 目標値(88%)を超えることができなかった。5、6年での評価が低い。来年度は5、6年生で外国語活動を年間15時間増やし50時間実施する。グローバル化に向けて外国語活動に力を入れていきたい。 評価項目8 目標値を超えることが出来ている。また「4の評価」も70%を超えている。今年度は友達同士で助け合うことを目的としたピア・サポートの学習を3年生以上で実施した。児童たちが困ったときに協力し合えるような人間関係作りにも努めていきたい。 評価項目9 児童の目標値(85%)は達成できたが、前期に比べてさらに下がってしまった。ルールを守ることに課題がある。生徒指導主任を中心に名札や帽子、時間等について指導していくとともに、道徳などでルールの大切さを感じられるような指導をしていく。 評価項目10 教師も保護者も評価が向上している。「4の評価」も向上しているのもうれしい。ユニバーサルデザインの考え方は授業だけではなく、常に人に優しく接することができるよう、来年度から実施される「特別の教科 道徳」を要として全教育活動で取り組んでいきたい。 評価項目11 H29前期に比べて、教師の評価が5%以上向上した。教師が体育の授業でも児童の実態を把握して授業に取り組んできた成果が出てきたと考える。今後は児童の評価90%を目指して、児童も成果を実感できるような授業づくりをしていく。 評価項目12 児童の評価が3%下がったことが残念である。しかし、教師の評価が100%であり、保護者の評価も上がったように、本校は欠席率が減少し、磐田市内でも少ない学校になった。歯みがきについては、もう一度家庭と連携しながら、児童の意識を高めていきたい。 評価項目13 児童の評価が目標(78%)と比べて高い。地域の歴史や自然についての学習を支えていただいているPTAや地域の方の御協力が大きい。今後は、さらに学習が地域の関心へと向くように、繰り返し地域とともに学ぶ活動を行っていきたい。	評価項目1 授業や行事を見ていると子供が楽しみながら一生懸命に取り組んでいる様子が分かる。 評価項目2 ホームページを楽しみにしている。今後も続けていってほしい。 評価項目3 項目4とつながっていると思う。先生が子供の話をよく聞くことで、子供は学校が楽しいと感じるであろう。 評価項目4 学校生活が楽しいという雰囲気を作ることが大切である。先生方には楽しい学級や学校の雰囲気を作っていってほしい。 評価項目6 授業の様子を参観すると、先生方が板書や授業を工夫している様子が分かる。今後も続けていってほしい。 評価項目7 企業ではグローバル化に向けて、以前から取り組んでいる。それらも参考にし、理解度も伴った楽しい授業にしていってほしい。 評価項目8 子供が相談できることも大切だが、保護者が子供のことを学校に相談できることも大切である。学校として、保護者が相談できる工夫をしていくとよい。 評価項目9、10 あいさつができる子供が多くなってきている。お礼を言うことが素直にできる子供もいて気持ちが良い。声が小さい子供には大人からあいさつをしていくことも大切である。 評価項目12 歯みがきは習慣づけが大切なため、家庭との協力が必要である。歯みがきの必要性を子供に分からせるような指導をしていくことも必要である。 情報モラルに関する安全性も心配である。保護者の子供への携帯電話等の情報機器の与え方も含めて、子供が安全に生活できる取り組みについて保護者と考える機会ももちたい。 評価項目13 交流センターに来ている子供の様子を見ると、子供たちは地域のことに関心をもっているように感じた。地域の活動に参加してみたいかどうかを聞いてみるのもよいのではないかと考える。学校では、「化石教室」や「ようこそ先輩」など地域の歴史や自然と関わる機会を多く設定しているので、今後も郷土の歴史や自然を学ぶ機会をさらに充実させていくことが必要である。 交流センターの歴史教室も盛り上げていって協力したい。
						児童	91.8	53.5	92.6	56.1			90.2	91.0		
	保護者				84.3	30.5	85.5	26.7	84.8	85.6						
	教師			95.5	27.3	100	13.6	100	95.2							
	児童			88.7	51.4	88.9	53.1	82.6	83.3							
○	保護者			93.7	41.2	92.7	35.3	92.0	91.1							
	教師															
▲	児童	86.6	68.1	90.7	72.2	86.9	88.7									
	保護者															
大切に する 心 根 づく り	・進んであいさつをしよう 返そう ・気持ちのよい生活をしよう	☆8 学校で困ったときに相談できる友達や先生がいる(児童:90%)		教師							評価項目1 授業や行事を見ていると子供が楽しみながら一生懸命に取り組んでいる様子が分かる。 評価項目2 ホームページを楽しみにしている。今後も続けていってほしい。 評価項目3 項目4とつながっていると思う。先生が子供の話をよく聞くことで、子供は学校が楽しいと感じるであろう。 評価項目4 学校生活が楽しいという雰囲気を作ることが大切である。先生方には楽しい学級や学校の雰囲気を作っていってほしい。 評価項目6 授業の様子を参観すると、先生方が板書や授業を工夫している様子が分かる。今後も続けていってほしい。 評価項目7 企業ではグローバル化に向けて、以前から取り組んでいる。それらも参考にし、理解度も伴った楽しい授業にしていってほしい。 評価項目8 子供が相談できることも大切だが、保護者が子供のことを学校に相談できることも大切である。学校として、保護者が相談できる工夫をしていくとよい。 評価項目9、10 あいさつができる子供が多くなってきている。お礼を言うことが素直にできる子供もいて気持ちが良い。声が小さい子供には大人からあいさつをしていくことも大切である。 評価項目12 歯みがきは習慣づけが大切なため、家庭との協力が必要である。歯みがきの必要性を子供に分からせるような指導をしていくことも必要である。 情報モラルに関する安全性も心配である。保護者の子供への携帯電話等の情報機器の与え方も含めて、子供が安全に生活できる取り組みについて保護者と考える機会ももちたい。 評価項目13 交流センターに来ている子供の様子を見ると、子供たちは地域のことに関心をもっているように感じた。地域の活動に参加してみたいかどうかを聞いてみるのもよいのではないかと考える。学校では、「化石教室」や「ようこそ先輩」など地域の歴史や自然と関わる機会を多く設定しているので、今後も郷土の歴史や自然を学ぶ機会をさらに充実させていくことが必要である。 交流センターの歴史教室も盛り上げていって協力したい。					
			○	児童	93.6	72.9	94.3	75.2	95.0	94.6						
				保護者												
			教師	82.6	26.1	81.8	27.3	95.7	90.5							
			児童	88.9	53.3	90.2	54.7	91.9	93.0							
		○	保護者	94.4	37.0	91.9	35.2	92.3	91.5							
			教師	78.3	13.0	68.2	9.1	78.3	81.0							
			児童	90.8	49.5	90.9	52.4	90.6	92.6							
		○	保護者	91.0	40.1	88.2	35.6	91.3	88.8							
		健康 な 心 と 体 づ く	・自分の体をきたえよう ・自分の体を大切にしよう	11 体力や運動能力を向上させる指導の充実を図っている(教師) 体力を伸ばすため、めあてをもって取り組んでいる(児童)	○	教師	95.7	39.1	90.5	19.1		95.7	100	評価項目1 授業や行事を見ていると子供が楽しみながら一生懸命に取り組んでいる様子が分かる。 評価項目2 ホームページを楽しみにしている。今後も続けていってほしい。 評価項目3 項目4とつながっていると思う。先生が子供の話をよく聞くことで、子供は学校が楽しいと感じるであろう。 評価項目4 学校生活が楽しいという雰囲気を作ることが大切である。先生方には楽しい学級や学校の雰囲気を作っていってほしい。 評価項目6 授業の様子を参観すると、先生方が板書や授業を工夫している様子が分かる。今後も続けていってほしい。 評価項目7 企業ではグローバル化に向けて、以前から取り組んでいる。それらも参考にし、理解度も伴った楽しい授業にしていってほしい。 評価項目8 子供が相談できることも大切だが、保護者が子供のことを学校に相談できることも大切である。学校として、保護者が相談できる工夫をしていくとよい。 評価項目9、10 あいさつができる子供が多くなってきている。お礼を言うことが素直にできる子供もいて気持ちが良い。声が小さい子供には大人からあいさつをしていくことも大切である。 評価項目12 歯みがきは習慣づけが大切なため、家庭との協力が必要である。歯みがきの必要性を子供に分からせるような指導をしていくことも必要である。 情報モラルに関する安全性も心配である。保護者の子供への携帯電話等の情報機器の与え方も含めて、子供が安全に生活できる取り組みについて保護者と考える機会ももちたい。 評価項目13 交流センターに来ている子供の様子を見ると、子供たちは地域のことに関心をもっているように感じた。地域の活動に参加してみたいかどうかを聞いてみるのもよいのではないかと考える。学校では、「化石教室」や「ようこそ先輩」など地域の歴史や自然と関わる機会を多く設定しているので、今後も郷土の歴史や自然を学ぶ機会をさらに充実させていくことが必要である。 交流センターの歴史教室も盛り上げていって協力したい。		
	児童				89.5	63.3	90.1	66.7	85.8	87.2						
	保護者															
○	教師			100	60.9	100	63.6									
▲	児童			88.1	59.1	91.3	69.3	88.5	89.6							
	保護者	91.2	34.5	90.7	34.4	90.6	91.0									
地域	学校と地域の連携	☆13 子供たちは、地域の人たちと、学校や地域で関わっている。(教師) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。(児童:78%)		教師	87.0	34.8	90.9	22.7	82.6	81.0	評価項目1 授業や行事を見ていると子供が楽しみながら一生懸命に取り組んでいる様子が分かる。 評価項目2 ホームページを楽しみにしている。今後も続けていってほしい。 評価項目3 項目4とつながっていると思う。先生が子供の話をよく聞くことで、子供は学校が楽しいと感じるであろう。 評価項目4 学校生活が楽しいという雰囲気を作ることが大切である。先生方には楽しい学級や学校の雰囲気を作っていってほしい。 評価項目6 授業の様子を参観すると、先生方が板書や授業を工夫している様子が分かる。今後も続けていってほしい。 評価項目7 企業ではグローバル化に向けて、以前から取り組んでいる。それらも参考にし、理解度も伴った楽しい授業にしていってほしい。 評価項目8 子供が相談できることも大切だが、保護者が子供のことを学校に相談できることも大切である。学校として、保護者が相談できる工夫をしていくとよい。 評価項目9、10 あいさつができる子供が多くなってきている。お礼を言うことが素直にできる子供もいて気持ちが良い。声が小さい子供には大人からあいさつをしていくことも大切である。 評価項目12 歯みがきは習慣づけが大切なため、家庭との協力が必要である。歯みがきの必要性を子供に分からせるような指導をしていくことも必要である。 情報モラルに関する安全性も心配である。保護者の子供への携帯電話等の情報機器の与え方も含めて、子供が安全に生活できる取り組みについて保護者と考える機会ももちたい。 評価項目13 交流センターに来ている子供の様子を見ると、子供たちは地域のことに関心をもっているように感じた。地域の活動に参加してみたいかどうかを聞いてみるのもよいのではないかと考える。学校では、「化石教室」や「ようこそ先輩」など地域の歴史や自然と関わる機会を多く設定しているので、今後も郷土の歴史や自然を学ぶ機会をさらに充実させていくことが必要である。 交流センターの歴史教室も盛り上げていって協力したい。					
			▲	児童	83.8	54.9	88.7	61.1	88.0	87.6						
				保護者												

学校関係者評価を受けてのまとめ

児童の評価が平成29年度の前期と比べて下がってしまったことが残念であったが、学校関係者の方からは、地域や家庭も協力して子供を育てていくことが大切であるという温かい御意見を多くいただいた。しかし、教師と保護者と子供の評価のずれなど理由をはっきりさせていくことや学校でもっと楽しい雰囲気づくりをしていく必要があるのではないか等、課題についても御意見をいただくことができた。御意見をいただいたことを真摯に受け止め、より良い授業づくりや学級づくりに取り組んでいきたい。さらに、子供たちは学校や家庭、地域の中で育まれていくことをもう一度見直し、子供たちの学校での様子や学校の思いを保護者や地域の方に積極的に発信し、よりよい学校づくりに励んでいきたいと考えます。